

## 平成29年度第2回行政改革推進委員会概要報告

柏崎市財務部行政改革室

- 1 開催日時 平成29年8月29日(火) 午後6時から7時45分まで
- 2 場 所 柏崎市役所4階小会議室
- 3 出席者 ○推進委員(五十音順)  
石坂委員、大倉委員、品田委員、高野委員、土田委員、中村委員、西巻委員、橋本委員(委員長)、村田委員  
欠席: 小林委員  
○事務局  
政金財務部長、飯田行政改革室長、宮川室長代理、宮嶋主査

### 4 概 要

今年度に内部評価を実施した281事業のうち、行政改革室で抽出した28事業の中から平成29年度の外部評価の対象となる4事業及び予備として1事業を選定した。なお、9月21日、22日に開催する外部評価会議において、選定した事業の外部評価を実施する。

#### 外部評価対象事業

- ・No.83 ふるさと応援事業(ものづくり・元気発信課)
  - ・No.113 市民活動支援事業(市民活動支援課)
  - ・No.514 食の地産地消啓発事業(農政課)
  - ・No.961 シニアカレッジ講座運営事業(生涯学習課)
- 予備として、No.680 西山ふるさと公苑自主事業(西山町事務所)

#### 主な選定理由等

- No.83 ふるさと応援事業(ものづくり・元気発信課)
  - ・コストに対する成果、その比率が他市と比較してどうか。
  - ・援→縁に変えて取り組んでいる事業であり、地域産業への波及を検証したい。
  - ・柏崎のふるさと納税の現状と地域産業の活性化について関心がある。
- No.113 市民活動支援事業(市民活動支援課)
  - ・支援団体が多くなり、支援の内容も様々であると思う。市民活動センターの充実化で対応できないか。
  - ・支援された事業者のその後はどうなっているのか。
  - ・市民活動センターが立ち上がり、今後どのような形で連動していくのかを確認したい。
- No.514 食の地産地消啓発事業(農政課)
  - ・もっと地産地消を推奨してほしい。
  - ・認知度が増してきている中で同様のコンセプトのイベントがあるのであれば統合してもよいのではないか。
- No.961 シニアカレッジ講座運営事業(生涯学習課)
  - ・市民大学運営事業やエイジレス講座運営事業と統合できないか。
  - ・幅広いジャンルの講座内容が分からない。

## 5 委員会の要旨

### (1) 開会

### (2) 財務部長挨拶

### (3) 議事

#### ア 外部評価の実施方法について

《行政改革室室長代理から説明》

質疑応答なし

#### イ 外部評価の対象事業の選定

《行政改革室室長代理から選定方法を説明》

委員： 同様のコンセプトで行われている2つの事業を同時に審議したい場合は、どのようにすればよいか。

室長代理： その場合は、どちらかの事業を選んでいただき、外部評価会議の中で、併せて審議していただければと思う。

委員： 内部評価した281事業の中からどのような視点で28事業を抽出したのか。

室長代理： 市政と市民が密接に関係する事業や担当課と財務部で評価の異なる事業、予算額の大きい事業、市民の意見を聞きたい事業を中心に抽出を行った。

委員： 評価の視点として、市以外の実施主体とあるが、どのようなものを指すのか。

室長代理： 現在、市が行っている事業を民間や市民団体で実施が可能かどうかも評価をする際や対象事業を選ぶ際にポイントとしていただきたい。

委員： No.703 空き家対策事業について、特定空家とは何か。

室長代理： 法律等で定義されているものであり、管理不全で倒壊のおそれや衛生上有害となる空家を特定空家としている。

委員： No.881 青少年健全育成事業及びNo.139 歴史文化ボランティアガイド養成費について、内部評価シートのコスト欄の金額が低い理由は何か。

室長代理： No.881については、円単位で入力するところを千円単位で入力しており、資料上の不備である。No.139は金額のとおりである。

委員： コスト欄の金額は実費のみで職員の人件費は含まれていないとの認識でよいか。また、内部評価シート上の職員の負担度合とは何か。

室長代理： コストに人件費は含んでいない。負担度合は、担当課において行っている業務の中で、当該事業がどの程度占めているか、職員の負担割合を入力しており、その度合いが事業を行うに当たっての職員人件費の割合と考えていただきたい。

委員： No.100 Webミュージアム推進事業の中で、デジタルアーカイブ化とあるが、具体的には何か。

財務部長： デジタルアーカイブ化は、絵画等を撮影し、画像化することで、現地に行かなくてもWeb上で見ることができるようにすることである。3Dで撮影するため、木像などは、立体的に見ることができる。

- 委員： No.32 市政協力費について、平成27年度から28年度において、財源内訳の中で国県支出金が大きく減少している。これはなぜか。
- 財務部長： 当該事業における国県支出金は、電源関連の交付金である。交付金はソフト事業にも充当が可能であり、まとまって市に交付される。その中で予算により充当先を割り振っており、年度によって充当額が変わる。
- 委員： 平成27年度から減額となっているのは何か状況が変わったのか。
- 財務部長： 全体の中で充当額を調整しており、状況の変化によるものではない。
- 委員： No.494 柏崎産米ブランド化推進事業について、農業所得の向上を目的として、平成30年度以降に本格的な事業を実施するとあるが、本格的な事業実施とは何か。
- 財務部長： 柏崎産として売り出せるブランド米を作り、他の米と比べて有利な販売が可能となることで所得を向上させるものである。  
現在は準備段階であり、食味などの基準を設定し、基準に合致したものだけをブランド米として認定する制度の創設を目指している。
- 委員： ブランド化後の展開も見据えているのか。
- 財務部長： 財務部の評価としても、ブランド米として認定し、有利に販売ができるのかどうか、事業効果の検証を行うべきとしている。
- 委員： ブランド米に関する法律があるのか。それとも、市が条例化するのか。
- 財務部長： 法律で定まっているわけではなく、市が基準を設定し、その基準に合致したものをブランド米として認定するものである。市独自の取組であるが、条例化まではしない。
- 委員： あくまでも宣伝力を向上させるためのブランド化ということか。
- 財務部長： そのとおりである。他のブランド米との差別化を図り、売り出していかなければいけない。
- 委員： No.86 柏崎リーダー塾について、卒塾生の活動や成果報告等はあるのか。
- 財務部長： 柏崎リーダー塾は、2年間20人を1期として、現在3期目が始まっている。卒塾生の成果や活動報告が事業の効果となるのではないかと財務部でも評価しているところである。  
イベント周知のホームページを立ち上げるなどの活動をしている卒塾生もいる。また、卒塾生からは総合計画の審議会への参加など、これからの行政運営を考えていくことに協力していただいている。
- 委員： 企業等から参加している人が多いかと思うが、個人で参加するには費用面なども含めてハードルが高い。
- 財務部長： 費用負担もあり、集まる回数も多いため、個人では参加のハードルが高いかもしれない。参加者は企業からの推薦が多い。
- 委員： 柏崎リーダー塾は、市と商工会議所との共同事業であるが、費用はどうなっているのか。また、平成28年度のみ国県支出金があるが、これはなぜか。
- 財務部長： 平成28年度は、地域のリーダーを育成する事業であることから、地方創生の交付金を充当したためである。

費用は、市の負担がほとんどであるが、リーダー塾事務局として、商工会議所からも事務や会場の用意などを負担してもらい、共同で事業を行っている。

- 委員： 事業への寄附も募っているが、寄附金はどこに入っているのか。
- 財務部長： 内部評価シートのコストは市が支出している分であり、柏崎リーダー塾自体の会計は別となっている。寄附金等も含めると柏崎リーダー塾の決算額はもっと大きくなる。
- 委員： 1期生の活動報告はあったが、2期生以降は活動が見えてこない。透明性の確保が必要ではないか。
- 財務部長： その点も含めて改善していく必要があると考えている。
- 委員： 社長のたまご塾は市の事業なのか。
- 財務部長： 市と商工会議所、柏崎信金との共同事業である。こちらは起業される方を支援している。
- 委員： 社長のたまご塾の出身で障がい者の就労支援事業を起業した会社もある。

#### 《外部評価対象事業の選定及び評価を行う委員について》

行政改革室において、委員が評価を希望する事業を記入した外部評価対象事業等希望調書を集計し、外部評価を希望する委員が多かった事業を委員会に報告した。

- 委員： 希望事業の選定は、希望者数を優先し、同数の場合は委員が希望する順位によって点数を割り振り、その合計点数で決めているが、集計結果を見ると希望者数の多い事業よりも高い点数となっているものもある。
- 室長代理： 希望者数を優先するため、得点の逆転現象は起こりうる。
- 財務部長： 外部評価の対象事業の選定は、以前から同様のルールで行っており、希望者数の多さを優先していることを御理解いただきたい。
- 委員： No.113 市民活動支援事業は、過去にも外部評価の対象となったと思うが、どうか。
- 室長代理： 平成26年度に外部評価を実施している。当時の評価では事業の拡充や見直しを求める評価・意見が多かった。
- 財務部長： 以前の評価から時間が経っており、評価を行う委員も変わっていることから、改めて評価をお願いしたい。

委員会の審議の結果、外部評価の対象4事業及び予備1事業を決定した。また、その評価は、2日間に分けて開催する外部評価会議において、各評価日に出席する委員に委ねることとし、各評価日において評価を行う委員を決定した。

#### (4) その他

次回、外部評価会議は、9月21日、22日の開催を予定しており、別途通知する。

## 6 閉会